

東京民医連

# 東北地方太平洋沖地震

## 支援ニュース

2011年3月13日

No.6

発行：東京民医連事務局

電話：03-5978-2741

FAX：03-5978-2865

メール：

soumu@tokyominiren.gr.jp

## 東葛・東都協議会からも現地へ!!

今日13日も、続々と現地への支援チームが出発しています。東葛病院からは濱砂医師、岡安医師を含む6人が現地に向かいました。病院の高架水槽が破損し、上水の供給ができないという困難もありながら支援を決定しました。

東都協議会からは箕輪医師、星野看護師を先頭に支援車2台12人で出発。簡易トイレやトイレトーパー、長靴などを積みこみ、宮城に帰れず困っていた看護師にも同乗してもらいました。

### <現地情報>

坂総合病院のライフライン、電気は自家発電し水もなんとかなっている。電話・メールは依然つながりにくい。電話は病院のある塩釜から40分ほど高台へ移動しないとつながらない。救急外来は軽症や精神的にショックを受けている方などがいる。現地スタッフは家にも帰らず頑張っているが、さすがに疲弊しはじめています。市中のライフライン復旧と食糧が求められている。(東京民医連：吉田孝喜氏から電話にて)

塩釜のコンビナート近くで黒煙が上がっている状況。自家発電はあと60時間程度。(川崎協同病院チームは)立川相互病院からの支援メンバーと一緒にこのことです。絶えずサイレンが鳴り、余震が続いている。携帯は微妙に通じない状況だそうです。(川崎協同病院・大越事務長のFacebookより)



### 全日本民医連より「現地支援の再開について」

昨日土曜の緊急連絡で、その時点で確定していた支援以外の現地への医師・看護師・事務などの支援を一時ストップするように要請しましたが、現地に到着した全日本民医連大河原次長などからの報告をうけ、対策本部で検討した結果、現地への医師・看護師・事務などの支援についての制限を解しました。現地への支援の組織をお願いします。

- 坂総合病院に向かって下さい。
- すでに現地に支援チームを出しているところは交替チームの組織も検討をはじめてください。
- 当面の支援は、外来・救急・地域まわりでの医療援助などになりますが、現地にある全日本民医連の受け入れ窓口の指示に従って下さい。
- 医療物資・食料も不足。積めるものは積んでください。何が必要かについては、別のメールを参照してください。
- 自分たちの食事などは持参して下さい。防寒対策・シュラフなども持参してください。

※先ほど上記連絡が入りました。次のニュースにて詳細をお知らせします。